

船舶事故等調査報告書

平成22年8月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010門第77号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成22年4月24日 08時30分ごろ	
発生場所	大分県津久見市 長目港伊崎防波堤灯台から真方位255° 1,350m付近（概位 北緯33° 06.2′ 東経131° 52.6′）	
事故等調査の経過	平成22年5月10日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 引船 第三 ^{こくしゅう} 国州丸、19.12トン 294-672大分 安部建設株式会社 B 台船 第二 ^{こくしゅう} 国州号、約35m なし、安部建設株式会社	
乗組員等に関する情報	A 船長、一級小型船舶操縦士 B なし	
死傷者等	なし	
損傷	A 船底擦過傷、プロペラ翼曲損 B なし	
事故等の経過	A船は、船長ほか3人が乗り組み、約2～3ノットの対地速力でB船のえい航作業中、長目港内において、平成22年4月24日08時30分ごろ、A船が工事現場の捨石に乗り揚げた。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風 ほとんどなし、視界 良好 海象：波 ほとんどなし、潮汐 下げ潮の中央期	
その他の事項	発生場所付近は、長目港内の道路拡張工事現場で、道路の基礎となる捨石が置かれていた。 船長は、数ヶ月間、道路拡張工事に携わり、捨石が置かれていることを知っていた。 事故当時の喫水は、A船が船首約2.0m、船尾約2.5m、B船が船首尾とも約1.0mであった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし A船は、長目港内でえい航作業中、船長が、水深が浅くなっている工事現場に接近し過ぎた可能性があると考えられる。
原因	本事故は、A船が長目港内でえい航作業中、水深が浅くなっている工事現場に接近し過ぎたため、捨石に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	